

0 歳児の様子

ねえねえ

なあに

さわると おとが
きこえるね



0歳児の頃から お友達に興味関心を示し、相手の表情や動きを観察する様子が見られます。お友達が使っているものを自分も触ってみようと積極的に動き出すようになります。

音遊び

いろいろな楽器をたたいたり、振ったりして音を感じることができるようにします。体全体で音の響きを感じとり、音や音楽が楽しめるようになります。



リズム遊び

さくらさくらんぼのリズム歌で体を動かして遊びます。音の On Off (オンオフ) に気を付けさせたり、体の使い方を意識させたりするねらいもあります。



シャボン玉遊び

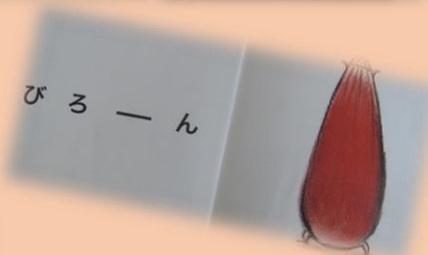


シャボン玉遊びは、どの年齢の子供達も大好きな遊びです。0歳児の子供たちは母親が吹いてくれるシャボン玉を見てとても喜びます。母親にシャボン玉を吹いてもらいたくて、ママの顔をじっと見ます。その時「〇〇ちゃん ふー するね」と子供に伝え、母親の話し掛けを注目してもらいます。「大きなシャボン玉だね」「あっ！ぱちんとわれた！」「シャボン玉がなくなっちゃたね」等、話し掛けて遊んでもらうようにしています。



絵本の読み聞かせ

0歳児の頃の絵本の読み聞かせは、親子の1対1で行うのが自然ですが、乳幼児教育相談では、保護者が家でどのように読み聞かせればよいか参考になるように、全体に読み聞かせをしています。絵本を読むときの表情、ページをめくる時の間の取り方、お話する言葉など、聞こえにくさに配慮した読み方等を保護者と一緒に話し合いながら進めています。



1・2 歳児の様子

おたまじゃくしを すくった! (2 歳児)



城南分教室のプールに、毎年カエルが卵を産みます。春にはおたまじゃくしがたくさん生まれ泳いでいます。2 歳児になると初めておたまじゃくしをすくってみます。学校や家で飼ってカエルになるまで育て、生き物が変化の様子を見る経験を大事にしています。



おたまじゃくしを描いたよ

こいのぼり 作り



季節や日本の伝統行事を話題にすることも大事にしています。最近は街中でもこいのぼりは見かけることが少なくなってきましたが、子供たちは、学校で大きなこいのぼりが泳いでいるのを面白そうに見ています。自分で作ったこいのぼりを、ひらひらと泳がせてとても楽しそうでした。



指絵の具 遊び



絵の具を使った活動は、子供によって好き嫌いがあります。手や体、洋服が汚れることもあり、なかなか家庭では気軽にできません。最近は公園等でも水、砂、土でどろどろ、べたべたする遊びはあまりしなくなってきました。しかし、様々な感覚を使った遊びは、心身の豊かな発達を促します。指絵の具は、手指で伸ばすとスーッと広がり、自分の思い思いの動きで描くことができます。保護者と一緒に描き、子供とやりとりしながら、面白さ楽しさを感じてほしいと思います。



水や寒天ゼリーで 遊ぼう(2歳児)



5月、初夏を思わせるような日に、今年度初めて水遊びをしました。たらいに水を入れておくと初めのうちは、コップやペットボトルなどいろいろな容器に水を入れたり出したりして遊びます。水を上手く入れるには？こぼさないように水を移し替えるには？どのようにしたら良いか試行錯誤しながら道具を使うようになります。食用色素5色を用意し、それを水に入れると色が変わることにびっくりします。色水を混ぜると色が変わることも分かり、コップにいれて飲み物に見立てた遊びになってきます。さらに寒天ゼリーを出すと、ままごとが始まります。保護者の言葉掛けによって、子供たちは色水や寒天ゼリーを様々に見立て、ままごと遊びがどんどん広がっていきます。